

参加申込方法のご案内

日生劇場開場60周年記念 NISSAY OPERA 2023 日生劇場オペラ教室 2023 ヴェルディ作曲 オペラ「マクベス」

公演日時 2023年 **11月9日(木)**・**10日(金)**・**13日(月)** 各13:00開演

上演時間:約3時間(休憩1回含む)

【料金】お一人 1,100円(税込/引率者・生徒とも同一料金/全席指定)

- ◆申込方法 以下のURLまたはQRコードにアクセスして、Webフォームにてお申込みください。
*学校単位(学年、コース、部活単位等も可能)でお申込みください。
(申込期限:11月30日(水)) 後日、12月29日(木)までにeメールにて鑑賞日をご連絡いたします。
school@nissaytheatre.or.jpからのメールを受信できるよう設定をお願いいたします。
(希望校が多数の場合は、抽選にて決定)

- ◆申込〆切 **2022年11月30日(水)**
※〆切に間に合わない場合は、下記問い合わせ先までご相談ください。

参加申込 と 鑑賞までの 流れ	2022年12月29日(木)までにeメールにて鑑賞日を通知
	2023年 4月中旬 鑑賞人数の確認
	9月初旬 鑑賞人数確定(鑑賞料金決定)
	9月下旬 請求書発行
	10月下旬 入金確認後、チケット発送 ※鑑賞人数確定後の人数変更、キャンセル、払い戻しは不可

お申し込み先 <https://www.nissaytheatre.or.jp/form/operaschool/>



・車椅子で観劇される生徒がいらっしゃる場合は事前にご連絡ください。・座席は当方にて指定いたします。

【当鑑賞教室に関するお問い合わせ先:公益財団法人ニッセイ文化振興財団[日生劇場]】

TEL: 03-3503-3111(平日11:00~17:00)/FAX: 03-3501-6816/Mail: school@nissaytheatre.or.jp 担当: 大内

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-1/ホームページ <https://www.nissaytheatre.or.jp>

新型コロナウイルス 感染症対策について

日生劇場では、各種ガイドラインに基づき新型コロナウイルス感染予防、感染拡大防止のための日生劇場 新型コロナウイルス感染対策ガイドラインを定め、遵守することで、お客様の安全を確保し安心して観劇いただける環境作りに努めております。



会場 日生劇場: 東京都千代田区有楽町1-1-1

地下鉄でご来場の方へ

千代田線/日比谷線/都営三田線 日比谷駅A13出口より徒歩1分
有楽町線 有楽町駅より徒歩10分
丸ノ内線 銀座駅より徒歩10分

JRでご来場の方へ

山手線/京浜東北線 有楽町駅日比谷口より徒歩10分



◆主催・企画・制作/公益財団法人ニッセイ文化振興財団[日生劇場]

◆後援/東京都(NISSAY OPERA 2022) ※NISSAY OPERA 2023についても申請予定

一般財団法人東京私立中学高等学校協会/茨城県教育委員会/栃木県教育委員会/群馬県教育委員会/埼玉県教育委員会/神奈川県教育委員会



NISSAY OPERA 2023 日生劇場オペラ教室 2023

日生劇場が
お届けする
中高生のための
鑑賞教室

ポイント1

演目は日生劇場の
一般公演と
同じオペラ作品を
低廉な価格で
提供

ポイント2

鑑賞対象は
中学生~高校生

ポイント3

事前学習DVDと
公演プログラムを
無料で提供

【応募〆切】11月30日(水)



主催:公益財団法人ニッセイ文化振興財団[日生劇場]

東京都千代田区有楽町1-1-1 <https://www.nissaytheatre.or.jp>

協賛:日本生命保険相互会社

詳しくは
内側を
ご覧ください

OPEN

日生劇場について

1963年10月、日本初の引越し公演となったベルリン・ドイツ・オペラの「フィデリオ」で東京・日比谷に開場。以来、数々のオペラ、演劇、ミュージカル、コンサート等の貸劇場公演に加えて、ニッセイ名作シリーズ、NISSAY OPERA、ファミリーフェスティバル等の自らの制作公演も毎年開催し、大人から子どもまで幅広いお客様にご来場いただいています。2023年には開場60周年を迎えます。



ニッセイ文化振興財団について

当財団は、日生劇場を中心として「すぐれた舞台芸術を提供するとともにその向上をはかり、わが国の芸術文化の振興に寄与する」ことを事業目的として、日本生命保険相互会社の出捐により1973年11月に設立され、2009年11月に公益財団法人へ移行しました。財団設立以来、「届ける(優れた舞台芸術を制作、上演する)」「育む(青少年の豊かな情操を育てる)」「支える(舞台芸術を支える人材を育成する)」という3つの基本理念のもと、活動を行っています。

日生劇場オペラ教室とは…

公益財団法人ニッセイ文化振興財団[日生劇場]は、1979年から2013年までの間、中高生にオペラを低廉な料金で提供する「青少年のための「日生劇場オペラ教室」」を開催、累計33万名の中高生にオペラ公演を鑑賞していただきました。2014年からは、「ニッセイ名作シリーズ」として、オペラ、バレエ、クラシックコンサート、音楽劇などの多彩なジャンルの公演に、小中高生を無料でご招待する取り組みを行ってまいりました。このほど、「ニッセイ名作シリーズ」としてのオペラ・バレエ公演への中高生の無料招待を終了し、2023年以降は、中高生にオペラを低廉な料金で提供する「日生劇場オペラ教室」を再開することとなりました。これからの社会を支える青少年の「豊かな情操」や「多様な価値観」を育むために、優れた舞台芸術に触れる機会を提供してまいります。

日生劇場のオペラ公演

日生劇場は、1963年の柿落とし公演ベルリン・ドイツ・オペラの『フィデリオ』上演以来、国内外で活躍している実力派のオペラ歌手やスタッフによる最高水準の舞台芸術を紹介しています。1979年に、日生劇場オペラ教室第1回として團伊玖磨作曲の『夕鶴』を上演して以来、毎年欠かさず自主制作のオペラを上演。1996年からは、オーディションによるキャスト選抜を開始しました。この方式は現在に至るまで継続、所属やキャリアに関わらず、実力のある国内一線級のオペラ歌手に出演していただくことができ、高水準の作品を上演しています。

近年の日生劇場でのオペラ公演

ゴリホフ作曲『アイナダマール』(2014年/日本初演)、フンバーティンク作曲『ヘンゼルとグレーテル』(2015/2019年)
モーツァルト作曲『ドン・ジョヴァンニ』(2015年)『後宮からの逃走』(2016年)『魔笛』(2018年)『コジ・ファン・トゥッテ』(2018年)
ロッシーニ作曲『セビリアの理髪師』(2016/2022年)、プッチーニ作曲『ラ・ボエーム』(2017/2021年)『トスカ』(2019年)
ドヴォルザーク作曲『ルサルカ』(2017年/平成29年度(第72回)文化庁芸術祭賞 優秀賞受賞)
ベッリーニ作曲『カプレーティとモンテッキ』(2021年)、ドニゼッティ作曲『ランメルモールのルチア』(2022年)



撮影：三枝近志

日生劇場開場60周年記念 NISSAY OPERA 2023

日生劇場オペラ教室 2023

オペラ「マクベス」

(全4幕、原語〔イタリア語〕上演、日本語字幕付、新制作)

作曲:ジュゼッペ・ヴェルディ/台本:フランチェスコ・ピアーヴェ

指揮:沼尻竜典/演出:栗國淳(日生劇場芸術参与)/管弦楽:読売日本交響楽団

上演時間:約3時間(休憩1回含む)

【公演日時】2023年11月9日(木)・10日(金)・13日(月) 各13:00開演

※やむをえない事情により出演者・上演時間等が変更となる場合があります。

【料金】お一人 1,100円(税込/引率者・生徒とも同一料金)

公演のポイント

- シェイクスピア四大悲劇のひとつを、壮大なオペラで
- 巨匠ヴェルディによる迫力あるオーケストレーション
- 指揮、演出は日本を代表する2人のマエストロ
沼尻竜典(指揮)×栗國淳(演出/日生劇場芸術参与)
- イタリアの名匠アレッシンドロ・チャンマルーギ氏が
手掛ける、美しい舞台美術と衣裳

出演



マクベス



バンクォー



マクベス夫人



マクベス夫人



マクベス夫人



マクベス夫人

〈良いは悪い、悪いは良い〉…国を救ったかつての英雄は、魔女の予言を信じ権力を求めるあまり、やがて独裁者へと変貌する。そして、その暴力が自らを破壊へと導く…。シェイクスピア四大悲劇の名作が、オペラの巨匠ヴェルディによって、圧倒的な迫力の音楽で描き出されます。

日生劇場でのヴェルディ作品は、1970年『ファルスタッフ』(ベルリン・ドイツ・オペラ)以来53年ぶりの新制作上演となります。指揮は、2017年から2020年にかけて、ワーグナーの『ニーベルングの指環』全作演奏(びわ湖ホール)を達成した泰斗・沼尻竜典氏。演出は、イタリア・オペラの第一人者である日生劇場芸術参与・栗國淳。2022年上演『セビリアの理髪師』で絶賛を博した二人のマエストロが再びタッグを組んで挑む、ヴェルディの傑作オペラにご期待ください。

バンクォー
マクダフ
マルコム
侍女
従者/医師(4役*)
刺客/伝令
[ダブルキャスト]

伊藤 貴之/妻屋 秀和
宮里 直樹/大槻 孝志
村上 公太/高島 伸吾
森 季子/藤井 麻美
後藤 春馬/金子 慧一
*1日2役ずつ、交互に全日程出演

あらすじ

スコットランドの将軍マクベスは、戦場からの凱旋の途上で魔女たちに遭遇し、「いつか王になる」という予言を受ける。野望に燃えるマクベスは、夫人と共謀して、国王ダンカンと、同じく魔女から「王の父」になると予言を受けていた戦友バンクォーを殺害する。血によってスコットランド王の地位を手に入れたマクベス。しかし、即位の宴席で、手に掛けたバンクォーの亡霊を見たマクベスの心は、しだいに恐怖によって支配されていく。かつての英雄は、独裁者として暴政を敷くようになり……。

日生劇場でオペラを観劇された皆さんの声

実際に鑑賞したことのない生徒が多かったため、本物に触れる機会を得て感激していました。部活動や進路と関連付けて考える生徒もいました。

(高校引率)

歌、舞台美術、オーケストラの演奏、何から何まで驚きでいっぱいでした。今まで芸術やオペラ鑑賞と聞くと自分とは少し離れたものだと思っていましたが、今回鑑賞してみて、自分にも楽しめるといった感情が湧きました。

(中学女子)

初めてオペラを観て、歌でこんなに感情を表現できるのかと、出演者の歌声に圧倒された。言葉の意味は分からなくても、歌い方や表情で登場人物の気持ちを理解できたため、楽しむことができた。

(高校男子)